

こっこめ通信 04 2023

「小島から羽ばたけ！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

春の海岸はいろいろな花の香りが漂ってきます。ここ数日はマルバアキグミの香りが強く、その後はトベラの香りに変わります。そんな香りを楽しみながら沖を見るとザトウクジラのブローが見えることも。しかし、3月下旬以降、ブローの数が心なしか少なくなってきたように感じます。ザトウクジラももうすぐ旅立ちですね。

さて、今回は三年ぶりに開催した講演会と第二弾バスの旅についてのお話です。

三年ぶりの講演会

3月11日(土)、東京大学名誉教授で慶應義塾大学訪問教授の樋口広芳氏を講師にお招きして、「世界に羽ばたけ、八丈小島のクロアシアホウドリ！」を開催しました。三年ぶりに広く募集をかけての開催で、どれだけの方に来ていただけるか不安でしたが、34名の方が参加してくれました。(世界野球 WBC の放送もあり少し不安でした)

講演会では、スライドでのお話以外にも八丈小島で撮影された映像も流していただきました。

2013年の春に八丈小島に降り立ったクロアシアホウドリ。その後、求愛や産卵まで至りましたが、大型猛禽類の捕食などの影響により、数年はヒナまで育つことができませんでした。そして4年目の2016/17シーズンに待望の2羽のヒナが巣立ち、「八丈小島は世界最北のクロアシアホウドリの繁殖地」となりました。(※秋から春にかけて繁殖するため表記が年をまたいでいます)

八丈小島は、「残されたヤギの駆除が完了した(昭和44年まで人が住んでいた)」「イタチが放獣されていない」「広い草地と緩やかな傾斜がある」ことなどがアホウドリ類の繁殖に適しているとのことでした。ヒナの数も順調に増え、今シーズン(2022/23)は産卵数が159まで伸びているそうです。(伊豆諸島自然史研究会報告：上画像)

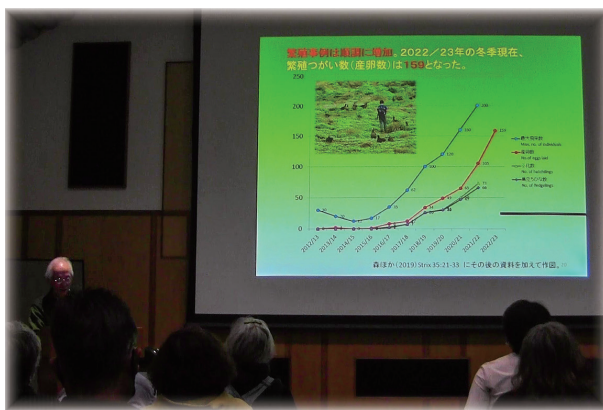
これからいろいろと課題はありますが、未来に向け、「八丈小島にアホウドリ類が安心して繁殖できるすばらしい自然の世界をつくっていききたい」「また、保全と管理をしっかりと行い、観察施設を整備した上で、小島をアホウドリ類を中心とした環境教育の一大拠点として活用していきたい」のでこれからが正念場になりますとの事でした。「八丈島のみなさまの理解とご協力をお願いいたします。」と締めくくられました。

今シーズン生まれたヒナにはピンクの足輪をつける予定らしく、ピンクの足輪をつけたクロアシアホウドリが色々なところで再発見されるとうれしいですね。

伊豆諸島自然史研究会の岩崎さんの Facebook に樋口先生からのメッセージ動画が発信されています⇒



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。



路線バスで行く！ビジタースタッフ珍道中！の巻②

<今回の移動経路>

2023/03/07 実施

9:30 町営バス営業所集合

とてもお得な「バ・ス・パ」購入

9:43 『町営バス』（末吉行き）

バス移動

10:14 ①「末吉」着

徒歩移動

②～④ 尾越の水汲場

⑤～⑩ 神子尾地区散歩

⑪～⑬ 名古の展望

12:52 「名古の展望」発

バス移動

13:13 「樫立出張所」着

徒歩移動

⑭～⑮ 昼食・いそぎえん

⑯ 樫立金刀比羅神社

⑰ 中将院の石室

14:48 「樫立出張所」発

バス移動

14:57 「馬路」着

徒歩移動

⑱ ふるさと村

⑲ 釈迦堂丹娜婆の墓由来碑

⑳ 旧測候所跡地付近

15:53 「大中前」発

バス移動

16:00 「町営バス」着 解散

今回の旅で一番印象に残ったのは、末吉散策の時、お住まいの方々から気さくにお声をかけていただき、思わぬ交流ができたことです。スタッフ2人で回ったのですが、いろいろな場所でたくさん話しかけてくださってありがとうございました。嬉しかったです。

また途中、日帰りバス旅をされている方に出会いました。バスの旅は醍醐味があって楽しいのですが、日帰りで利用するのなら、島を満喫して欲しいので事前の計画は必須だと思いました。

今回もいろんな出会いがあり、楽しいバス旅となりました。(M.K.)



①終点「末吉」到着
乗ってきたバス



⑥神子尾では海が見えなくて、連なる山々が新鮮でした！



⑦見下ろすとオオシマザクラが満開！



⑫八丈島灯台の光は青ヶ島からも見えることがあるらしい



⑬屋根には11羽のヒレンジャク



⑱新しく移築されたふるさと村の古民家



⑲釈迦堂の丹娜婆の墓由来碑。



②尾越の水汲場に行く途中には地層が！



⑤標高が高い所でしたが、シダ植物ハマホラシノブが群生



⑧コケリンドウがあちこちに咲き誇って



⑪見晴らし最高！名古の展望。サトウグジラが見えることも



⑭どこか懐かしいいそぎえんの店内



⑰石室の近くに中将院様の石碑があった



⑳こんな街中にあるとは思わないラセイタマアジサイが！



③ヒレンジャクが4羽賑やかでした



④尾越の水汲場に到着！ここは町の指定史跡です



⑨ハチジョウチドリには花茎が！



⑩路肩では早くもハチジョウテンナンショウ開花



⑮懐かしい麦雑炊。とても美味しかった



⑯初めて行った樫立の金刀比羅神社



㉑旅もそろそろ終わり。大中前のバス停

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の「八丈植物公園季節調査会」は、公園の北側を巡るコースの4回目です。オオシマザクラをはじめ、樹木や足下の小さな草花まで沢山の花が賑やかに咲き始めました。調査をしていても目で楽しみ、香りで楽しみと気持ちもワクワクしながら進むことができました。来月からの季節調査会は内容が少し変わります。

八丈植物公園季節調査(2022 年度第 12 回) 調査日: 3 月 12 日 調査者: 茂手木、青木、小林、VC: 木下、VC 沖山

① VC 裏八丈の森			30	カジイチゴ	蕾	67	ヒノキバヤドリギ	葉
1	シロダモ雄木	葉	31	カスマグサ	花	68	フウトウカズラ	実
②行啓記念碑入口			32	カタバミ	花	69	ヘビイチゴ	花
2	モッコク	葉	33	カラスザンショウ	新芽	70	マサキ	実
③坂の上			34	カラスノエンドウ	花	71	マツバウンラン	花芽
3	ハゼノキ雌木	落葉	35	キツタ	実	72	マンリョウ	実
④東エントランス			36	キランソウ	花	73	ムラサキカタバミ	花
4	スダジイ	新芽	37	コケリンドウ	蕾	74	ヤツデ	実
⑤通称一泰山			38	コセンダングサ	花・実	75	ヤマモモ	花
5	モクレイシ雄木・雌木	花・実	39	コナスビ	花			
⑥ジャカラダの細道			40	コハコベ	花		シダ植物	
6	シチトウタラノキ	落葉	41	サカキカズラ	種	1	アマクサシダ	
⑦2 番トイレ			42	シチトウスミレ	花	2	イシカグマ	
7	モチノキ雌木	花	43	シマモクセイ	実	3	ウチワゴケ	
⑧ピロウ広場			44	ジュズダマ	実	4	オオタニワタリ	
8	シチトウエビヅル	落葉	45	シロバナマンテマ	花	5	オニヤブソテツ	
9	アオキ	花	46	スズメノエンドウ	蕾	6	カニクサ	孢子葉
10	アオノクマタケラン	実	47	スズメノカタビラ	花	7	シチトウハナワラビ	孢子葉
11	アカメガシワ	新芽	48	スズメノヤリ	花	8	タチクラマゴケ	
12	アキノノゲシ	蕾	49	スダジイ	実	9	タチシノブ	
13	アツバスマレ	花	50	セイヨウタンポポ	蕾	10	タマシダ	
14	アメリカイヌホウズキ	花	51	センニンソウ	種	11	ナチシケシダ	
15	イヌビワ	実・新芽	52	タイミンタチバナ	花	12	ノキシノブ	
16	イワニガナ	花	53	タケダグサ	花	13	ハチジョウカナワラビ	
17	ウスベニニガナ	花	54	タネツケバナ	花	14	ハチジョウシダ	
18	ウラシマソウ	花	55	タブノキ	新芽	15	ハチジョウベニシダ	
19	ウラジロチチコグサ	花	56	チチコグサ	花	16	ヒトツバ	
20	オオアレチノギク	花	57	ツメクサ	花	17	ホシダ	
21	オオジシバリ	花	58	ツユクサ	花	18	ホラシノブ	
22	オオシマカンスゲ	実	59	ツワブキ	種	19	マツバラン	
23	オオシマザクラ	花	60	テイカカズラ	種	20	マメヅタ	
24	オオバコ	種	61	トキワハゼ	花	今回はシダ植物 20 種を含む 95 種の植物を観察しました。園路にはイタチの糞が目立ち、クワゴマダラヒトリも葉を食べたりと生き物も活発になってきました。		
25	オオバヤシャブシ	花・実	62	ノジスミレ sp	花			
26	オオムラサキシキブ	残実	63	ハナイバナ	花			
27	オニタビラコ	花	64	ハハコグサ	花			
28	オランダミミナグサ	花	65	ヒサカキ	花			
29	ガクアジサイ	実	66	ヒナギキョウ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、バスの旅でも見られた「ヒレンジャク」にスポットを当ててみたいと思います。



ヒレンジャク

Bombycilla japonica

レンジャク科レンジャク属。八丈島では渡りの途中に立ち寄る旅鳥。毎年渡ってくるわけではなく、数も年によってかなり違います。今年は 60 羽ほどの群れでしたが、2009 年 3 月にはキレンジャクと共に 150 羽以上の群れで渡ってきています。

全体は灰褐色で後頭部に長い冠羽があり、喉と嘴から眼の後ろにかけて黒い部分があります。尾の先端が赤色斑があります。

2023
4

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります						1 ガイドウォーク 05:00 15:22 10:28 22:08
2 ガイドウォーク 05:15 16:03 10:46 22:39	3 05:30 16:39 11:06 23:08	4 05:45 17:13 11:27 23:35	清明 5 06:02 17:48 11:51 23:51	6 06:20 18:23 12:16 23:54	7 06:39 19:00 12:44 23:59	8 ガイドウォーク 06:58 19:40 13:15 21:17
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 07:17 20:25 01:22 13:49	10 07:36 21:23 01:48 14:30	11 07:56 23:06 02:13 15:24	12 08:17 23:35 02:35 16:46	13 08:36 23:54 12:12 23:59	14 09:22 20:15 12:45 23:59	15 ガイドウォーク 04:09 14:07 09:40 21:17
16 ガイドウォーク 04:34 15:19 10:08 22:05	17 04:59 16:14 10:38 22:45	18 05:23 17:04 11:09 23:22	19 05:46 17:50 11:41 23:54	● 穀雨 20 06:06 18:33 12:12 23:59	21 06:25 19:16 12:45 23:59	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」 06:25 19:58 13:18 21:17
23 ガイドウォーク 07:01 21:57 02:02 15:16	24 07:18 21:40 01:30 14:34	25 07:34 23:06 01:43 15:24	26 07:43 23:35 16:36 23:59	27 06:57 18:24 12:12 23:59	28 04:01 19:59 12:45 23:59	29 ガイドウォーク GW特別行事 「春の八丈富士 ハイキング」 04:01 19:59 12:45 23:59
30 ガイドウォーク 02:02 15:16 21:57 23:59						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
4 / 9 (13:30 ~ 15:00)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八丈学講座。島ならではの鳥たちのさえずりを、聞き分けられるようになるかな？
4 / 22 (13:30 ~ 15:00)
中学生以上 和泉親水公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：10名

GW 特別行事 「春の八丈富士ハイキング」

毎年恒例八丈富士ハイキング。伊豆諸島最高峰！一緒に登ってみませんか。
4 / 29 (9:30 ~ 14:00)
小学生以上 (小学生は保護者同伴) 鉢巻道路登山口集合・解散 参加費：50円 定員：15名 雨天中止

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日 (10:30 ~ 約1時間)
だれでも OK ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち
11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16:00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2023.4.1 第263号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

先日「大湯浦園地でクロアシアホウドリが着陸しそうなくらい低空でやってきてまた飛び去って行ったよ。」と、情報をいただきました。
毎年こんな出会いに期待して見に行くのですが、なかなか幸運の女神は振り向いてくれません。(M.K.)